

週案例（幼稚園）

前週 の 幼 児 の 姿	・ 運動会で見たリレーや組体操が気に入り、自分たちもやってみたいと思っている様子が 見られる。 ・ 運動会でたくさんさんの経験をした。この週末には、保護者の方と運動会のことを話す 機会もあったと思われる。 ・ 「この葉っぱは何だろう」「この実は何だろう」と園庭や散歩に行った公園で木の葉や実 を拾い、秋の自然に興味をもつようになってきている。	ね ら い	○ ルールを理解したり、守ったりしながら友達と楽しく遊ぶ。 ○ 遊びの中に、自然を取り入れて楽しむ。 ○ 自分の気持ちを言葉で相手に伝えようとする。 ○ 運動会でやったことや思ったこと等を表現する。	内 容	○ 遊びに使うものやルールについて考えを出し合い、工夫して楽しむ。 ○ 木の葉や実等秋の自然物を遊びの中に取り入れて楽しむ。 ○ イメージや考えたことを自分の言葉で話して相手に伝えようとする。 ○ 運動の経験を思い出し、やったことや思ったことを身近な素材を使っ て表現する。	17日(金)	18日(木)	19日(金)				
日	15日(月)	16日(火)	17日(水)	園内研修会		園内研修会						
行事	午前保育 保護者懇談会						園内研修会					
環境の構成	・ リレー遊びが安全に行えるようにコースを引いたり、他の遊びと動線が重ならないように工夫したりす る。 ・ 秋の自然と遊ぶコーナーを作り、色づいた葉やどん ぐり等の実を種類ごとに分けて入れた箱や必要な用 具・絵本を幼児の目のつきやすいように置く。 ・ 運動会の経験を思い出しやすいように、運動会で使 った用具や写真等を保育室に展示する。 ・ 活動の区切りや終わりの集まりを通して、自分の思 いをしっかりと話したり、友達の思いを受け止めよう としたりする雰囲気をつくる。						・ 幼児の話し合いでチーム分けをする。 ・ 幼児のイメージを実現できるように穴を空けたどんぐ りを入れる箱と毛糸を準備する。 ――― ・ 幼児が友達の顔を見て話を聞けるように座席の配置を 円陣にする。					
予想される幼児の活動	○ リレーをする。 ・ 教師と一緒に、必要な用具等を考え、準備する。 ・ 教師の支援の下、チーム分けについて話し合う。 ○ 葉っぱやどんぐりで遊ぶ。 ・ 友達の作品等から、さらにイメージを広げ、木の葉や どんぐりを使っていたいろいろな遊びに挑戦する。 ○ 運動会ごっこをする。 ・ 運動会で経験したことを話したり、ごっこ遊びをし たりする。 ・ 運動会で経験したことを思い出しながら絵に表現する。 ○ 活動の区切りや終わりの集まり						○ リレーをする。 ・ 教師の支援のもとチーム分けについて話し合うこと によりルールの大切さに気付く。 ○ 葉っぱやどんぐりで遊ぶ。 ・ 友達の作品等から、さらにイメージを広げ、木の葉 やどんぐりを使っていたいろいろな遊びに挑戦する。 ○ 運動会ごっこをする。 ・ 運動会で経験したことを話したり、ごっこ遊びをし たりする。 ・ 自分の経験したことを思い出しながに絵に表現する。 ○ 活動の区切りや終わりの集まり					
教師の援助	・ リレー遊びに必要な用具やルールについて、幼児と 一緒に遊びながら幼児の思いや考えを引き出し整理す る。 ・ 自分で作って遊んでみようとする興味がわくよう に、秋のコーナーに来た幼児とサンブル作品と一緒に 遊ぶ。 ・ 運動会で経験したことを思い出し、表現したくなる ように、用具や写真を見て幼児と話したり、ごっこ遊 びをしてみたりする。 ・ 活動の区切りや終わりの集まりでは、それぞれが経験 したことを話題にして、学級で共有する。また、それぞ れの遊びが発展するように支援する。						・ チーム分けについては、トラブルが予想される。どう すれば、みんなが気持ちよく楽しめるかを考えさせるこ とにより、ルールに気付かせたい。 ・ 穴を空けたどんぐりと毛糸を用意して、コーナーに置 いておく。 ・ 新たに、運動会の表現活動に参加する幼児が多いと思 われるため、十分に運動会の経験を思い出させるよう に、話をしたりごっこ遊びをしたりできるように声をか ける。 ・ 活動の区切りや終わりの集まりでは、話をしている友 達の顔を見て反応できるように座席を円陣にする。					
記録・反省	○ リレー遊び 準備等は自分たちでできた。はじめのうちは、気の合う 友達だけであったため、チーム分けもうまくいっていた。だ んだん仲間が増え、うまく進行できなくなってきたため、幼 児の話し合いの中に入り、幼児の思いを引き出しながら、チ ーム分けの方法について考えられるように支援した。 ○ 秋のコーナー どんぐりのネックレズを作りがたがっていた。穴の空いた どんぐりを準備したい。 ○ 運動会の表現活動 昨日から取り組んでいた幼児の作品が完成した。終わりの 会で見せたり教室に掲示したりすることにより、達成感 を味わわせるとともに他の幼児の興味をわくようにした い。 ○ 活動の区切りや終わりの集まり 時間を確保することができたが、教師との一対一対応で あった。友達の顔を見て話を聞くことができるように座り 方を工夫したい。						幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ・ 健康な心と体 ・ 自立心 ・ 協同性 ・ 道徳性・規範意識の芽生え ・ 社会生活との関わり ・ 思考力の芽生え ・ 自然との関わり・生命尊重 ・ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ・ 言葉による伝え合い ・ 豊かな感性と表現					